

市民活動総合センター 令和4年度事業報告資料

- ・ 事業報告パワーポイントスライド一覧
- ・ 資料3-1：令和4年度事業報告書
- ・ 資料3-2：しみセン利用者アンケート 集計結果
- ・ 資料3-3：令和元年度～令和4年度 統計実績
- ・ 資料3-4：令和4年度指定管理料に関する収支決算書

<参考>

- ・ NPO・市民活動団体におけるボランティア受入れ・ボランティア活動に関するアンケート調査 報告書
- ・ hotpot76号
- ・ hotpot77号

京都市市民活動総合センター 令和 4 年度 事業報告書

令和 5 年 5 月

指定管理者名:(特非)きょうとNPOセンター
代表者名: 理事長 中村 正

令和4年度(2022年度)の事業報告

市民活動総合センター(以下、「しみセン」)指定管理第4期最終年として、また、令和2年度から始まったコロナ禍による行動制限が解除された「再開の年」として、センター運営を行った。

運営方針(7項目)を基本姿勢とし、6つの事業分野における年度計画を実行するとともに、しみセンの機能として求められる必須業務を遂行した。

【運営方針】

- (1) 公平・平等・公正を基調とした運営
- (2) 「公設市民営」の推進
- (3) 施設活用の向上および市民活動パブリシティの強化
- (4) 社会関係資本の再構築と受信力の向上
- (5) 災害ボランティアセンターおよび他機関連携の推進
- (6) G(ガバナンス)・C(コンプライアンス)・D(ディスクロージャー)の推進
- (7) 第三者評価・支援機関の設置と提言

各事業分野と 令和4年度 事業目的

1. 情報収集・提供事業

目的: NPO・市民活動団体の活動促進・参加促進につながる情報を発信する。

2. 相談事業

目的: 市民活動の多様な相談内容に様々な方法(対面・電話・メール・オンライン等)を講じて対応し、幅広く市民個人および団体の活動促進につながる総合相談窓口として機能を拡充する。

3. 育成事業

目的: 「担い手」と「理解者・支援者」の育成での2本柱の事業展開を推進する。

4. 連携・交流事業

目的: 多様なセクターとの連携による各種事業展開の拡充をはかる。

5. 施設管理

目的: with コロナ社会の中において、利用者にとって可能な範囲での利便性を考慮したセンター機能の充実とサービス提供を推進する。

6. 京都市災害ボランティアセンター運営事業

目的: 防災・減災を主軸とした「災害に強いまちづくり活動」を推進する。

情報収集・提供	目的	NPO・市民活動団体の活動促進・参加促進につながる情報を発信する。
事業計画	◆情報ポータルサイトや Facebook 等のデジタル情報配信量の更なる拡充をはかる。	

関連する主な事業一覧

- [情報]収集した活動情報の WEB サイトへの掲載(イベント・講座告知/ボランティア・寄付募集など)
- [情報]市民活動団体の情報収集・提供に関する支援(パブリックリレーションズの向上)
- [情報]資金調達、会計、税務、労務その他市民活動団体の運営に関する情報提供
- [情報]SNS 等を活用した情報発信

情報共有ポータルサイトでの各種情報発信

①収集した活動情報の編集と市民への発信

イベント情報とボランティア情報を中心に、市民活動情報共有ポータルサイト(以下、「ポータル」)での情報収集・発信数維持(2021 年度基準)に取り組んだ。(※参考:表 1)

掲載に際しては、市民に活動の意義が理解されやすいよう、団体とコミュニケーションを取りながら、発信内容の提案を行った。

◆成果◆

2021 年度の情報発信数と比較し、それぞれ若干の減少となったが、検索されやすいキーワードの活用に注力することで情報拡散を図ったところ、ページビュー数やビジット数が前年度を上回った。インフォメーションサービス登録開拓にも引き続き力を入れ、新規登録が 28 団体あった。

②NPO・市民活動団体向け情報収集と発信

●助成金情報では各要項を精読し、ポータルに抽出掲載すべき情報について一つひとつ見直しを行い、発信内容の質向上に取り組んだ。

●「NPO 法人の事務・手続き Q&A」ページにおいて、NPO 法人の総会の進行に関する解説および一般的な総会進行台本の見本を追加した。(※参考:表 2)

◆成果◆

総会進行台本は、年間 26,000 回以上の閲覧もしくはダウンロードがされている。NPO 法人のコンプライアンス強化を目的に掲載したものが、特定層のニーズをつかんだものと思われる。※総会進行台本見本(PDF)は検索サイトから直接閲覧およびダウンロードされることが多く、これらはポータルのページビュー数に含まれていない。

SNS(Facebook)での各種情報発信

●リーチ数が落ち込んでいる原因を探り、投稿回数の増加に取り組んだ。(※参考:表 3)

●「よくある相談」を切り口に、しみセンが開催する講座を紹介することにより、講座と相談両事業の情報発信を行った。

●利用団体の活動を紹介する記事、NPO 法人のコンプライアンスを促す記事数を増やした。

●しみセンへの親しみが増すことを狙いとして、利用団体の紹介や施設活用ポイント、職員名や職員の写真を掲載した記事配信を試みた。

◆成果◆

外部リンク以外の記事投稿も増やし、投稿内容の種類を多様にしたことで、年度終盤にリーチ数が上昇し始めたと思われる。また、フォロワー(利用者)から記事の話題やコメントが増え、記事内容の工夫についても一定の成果がみられた。

・出張講座の実施報告を投稿したことにより、今まで連携実績がなかった京都市の施設(京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす)から連携の打診があり、2023 年度の連携事業実施につながった。

表 1 (ポータル各種情報発信数とページビュー数)

2022年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
イベント	投稿数	7	4	8	12	6	7	10	4	4	7	2	1	72
	ビュー数	797	838	874	987	839	1,142	1,594	1,503	1,137	1,041	1,274	1,236	13,262
ボランティア募集	投稿数	5	1	1	1	6	1	2	1	4	2	2	1	27
	ビュー数	4,185	5,303	4,022	3,882	3,489	3,170	3,508	2,976	2,418	3,237	3,042	3,099	42,331
講座	投稿数	7	5	12	6	8	9	7	12	12	11	8	1	98
	ビュー数	1,087	1,339	1,228	1,107	1,170	1,679	1,156	1,289	1,085	2,102	1,534	1,221	15,997
寄付募集	投稿数	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4
	ビュー数	141	183	168	277	247	169	260	240	207	253	195	152	2,492
助成金	投稿数	63	54	53	53	55	47	44	55	43	34	40	35	576
	ビュー数	11,680	13,508	11,736	10,665	11,726	11,639	12,971	12,385	11,688	11,286	11,642	13,284	144,210
スポットライト	ビュー数	656	906	991	1,189	984	1,346	1,720	2,055	1,630	2,141	2,422	2,078	18,118

表 2 (ポータルの検索上位ワード)

ポータルの閲覧につながった Google 検索ワード 上位 10	クリック数
総会 司会進行 シナリオ	1802
総会の進め方	711
総会司会進行 例文	595
総会の進め方 台本	520
総会 司会と議長	482
総会 司会進行	452
ボランティア 京都	440
場面緘黙症 治ったきっかけ 子供	437
総会 シナリオ	437
場面緘黙症 治ったきっかけ	422

表 3 (Facebook の各種統計数)

Facebook	2022年度	2021年度	2020年度
いいね数	1147	1095	1064
フォロワー数	1219		
投稿数	155	130	135
リーチ数	27459	38,019 (有料広告含む)	37030
エンゲージメント	1123	1430	1924

↑ 投稿回数増にもかかわらず、リーチ数が減少していることの分析。しみセンの記事は外部リンク記事が多いため、投稿回数などの要素も含め、FB からの評価が下がっていたものと分析される。

【リハーサルより、女優ライトに手を焼くふたり】
今年度しみセンではいくつかの講座を「動画version」でお届けしようと、各担当者が準備を進めています。
今日は、助成金講座の動画撮影リハーサル。
担当の奥野と真鍋コンビが、なにやらいろいろの機材をもってミーティングルームに。
30分が経ったころ「どんな感じでリハが進んでるかな？」と覗きにしてみました・・・
なんと、あまりにもひさしぶりに「女優ライト」を使ったため、組み立て方がわからず悪戦苦闘中。
リハーサルが始まるまで、まだ時間がかかりそうでした😅
さて、無事に講座動画は完成するのでしょうか。
ぞうご期待！
(土坂のり子)



参考 (Facebook の配信記事例)

京都市市民活動総合センター
作成者: Sen Shimi 2022年10月19日
【今日のしみセン☆ごみ箱を整理しました！】
今月の休館日には、職員みなでごみ箱の撤収・配置の移動と清掃作業を実施しました。
ごみ箱を移動したり、外側の汚れを拭きとったり、中のごみ箱を洗ったり、分別マークを作り直したり... もっと見る



情報収集・提供	目的	NPO・市民活動団体の活動促進・参加促進につながる情報を発信する。
事業計画		<ul style="list-style-type: none"> ◆情報コーナースペースの多様化利用を促進する。 ◆機関情報誌 hotpot のデザイン構成改善と配架先の拡充をはかる。

関連する事業一覧

- [情報]市民活動に関する図書等の収集・管理
- [情報]活動団体紹介や講座内容の動画配信
- [情報]機関紙の発行
- [情報]情報機器の管理および操作指導
- [情報]市民活動団体の情報収集・提供に関する支援(パブリックリレーションズの向上)

情報コーナースペースの利用促進

①団体活動展示

- 1月28日に開催した市民活動支援チャリティ公開講座(以下、「公開講座」)の連動企画として、嵯峨大念佛狂言保存会の動画上映とパネル展示を開催した。
- NPO・市民活動団体が主体となり展示が展開できるよう、ルールづくりに取り組んだ。



②オンラインミーティング・イベント開催のためのスペース、機材の貸出サービス

- 貸出機材を充実させるため、ノートPC1台を購入し、パソコン利用環境の安全性を高めるためのソフト「瞬快」を導入した。また、オンライン会議やハイブリッド会議の実施経験が乏しい団体に対し、技術的なサポートを実施した。

◆成果◆

ひと・まち交流館京都の各会議室に wifi 環境が整い、②の利用に対して一時期のような高いニーズは解消されたが、機材貸出とソフト支援を活用したいという理由により、しみセンを利用する団体が一定数ある。本サービスの利用を機に、しみセンの他事業利用につながるケースが複数見られた。

機関紙「hotpot(ほっとポット)」

①機関紙の発行とデザインの改善について

- 76号「地域鉄道と沿線のまちづくり」では鉄道に関心のある市民と、地域に愛着のある市民が手に取りやすいデザイン構成とした。
- 77号「食の選択が導く穏やかな変化」では、ベジタリアンやビーガンを通し、脱炭素型ライフスタイルなどを取り上げた。表紙デザインでは質感まで伝わるような高画質の食膳写真を使用し、飲食店で配架しやすいよう工夫した。

※76・77号とも2023年3月発行(各1万部)

②機関紙配架先の拡充

- 配架協力先を4か所拡充した(現在137か所)
- 各号ともテーマに関連する施設等に特別設置しており、76号では市内地域鉄道のターミナル駅や鉄道博物館、鉄道模型販売店など10か所にも設置した。



情報収集・提供	目的	NPO・市民活動団体の活動促進・参加促進につながる情報を発信する。
事業計画		<ul style="list-style-type: none"> ◆団体レポート(NPO スポットライト)情報配信の拡充をはかる。 ◆市民活動総合センターホームページ基幹システム(genki365)変更に伴う、新システムのカスタマイズを検討する

関連する事業一覧

- [情報]活動団体紹介や講座内容の動画配信
- [情報]市民活動団体の情報収集・提供に関する支援(パブリックリレーションズの向上)
- [情報]センターホームページの維持管理 ○[情報]市民活動団体のデータベース化(電子)

NPO スポットライト

●月に1回配信し、市民活動団体の魅力や活動の意義を発信した。令和4年度は特に、あまり知られていない社会課題に取り組む団体を多く紹介した。また、事業継承モデルとして、長期間にわたり活動を続けてきた団体も3団体取り上げ、団体の活動や運営スタイルとともに、直面する課題の変化についても掘り下げた。

●情報拡散数増に向けて、タイトルに検索されやすいワードを入れ込む工夫の他、12月にしみセンホームページのTOPにバナーを掲載し、取り上げた団体にも周知協力を行った。

◆成果◆

「NPOスポットライト」のページビュー数が大幅に増加した。特に「場面緘黙親の会」のビュー数が著しく、検索サイトから多くの人アクセスしている。また記事掲載後、「京都車いす点検ボランティア スイマルク」がテレビおよび新聞に、「休日余暇支援活動じゃりんこ」がリビング新聞に取り上げられ、掲載団体のパブリックリレーションズの向上にもつながった。(※参考:表1、表4)

ホームページリニューアルに向けて

新たに実装する4センター統一団体情報登録検索システムの業者向け仕様書を作成するために、交渉を担うひと・まち交流館京都管理部への助言および情報提供を随時行った。

◆成果◆

カテゴリの複数抽出検索が可能となる予定で、より市民が検索しやすく、適切な情報にたどり着きやすいシステムを提供できるようになる。

NPO スポットライト 2022年度掲載団体		タイトル	年間ページビュー数
4月	水車復元プロジェクト	子へ孫へ 水車回るや 五月晴	230
5月	休日余暇支援活動じゃりんこ	障がいのある子どもたちの豊かな生活の広がりを求めて	321
6月	場面緘黙親の会	場面緘黙の子どもを持つ親たちの試行錯誤	7,824
7月	吉田山の里山を再生する会	100年、200年続く安心・安全な「里山」づくりを	334
8月	京都車いす点検ボランティア スイマルク	ウクライナへ車いすを贈る	373
9月	京都喉友会	声よ ふたたび	131
10月	NPO 法人ロバの会	あたたかい声で生活を支える	178
11月	NPO 法人 フェア・プラス	一期一会の縁を大切に。一歩ずつ活動していく。	46
12月	西山自然保護ネットワーク	京都市内に残る希少なカタクリの自生地を守る	255
1月	びあの会	“生きづらさ”を絆にかえて	240
2月	認定NPO法人アクセスー共生社会をめざす地球市民の会	生きる力にアクセス	99
3月	こころ停留所	不登校の家族をもつきょうだいの会	10

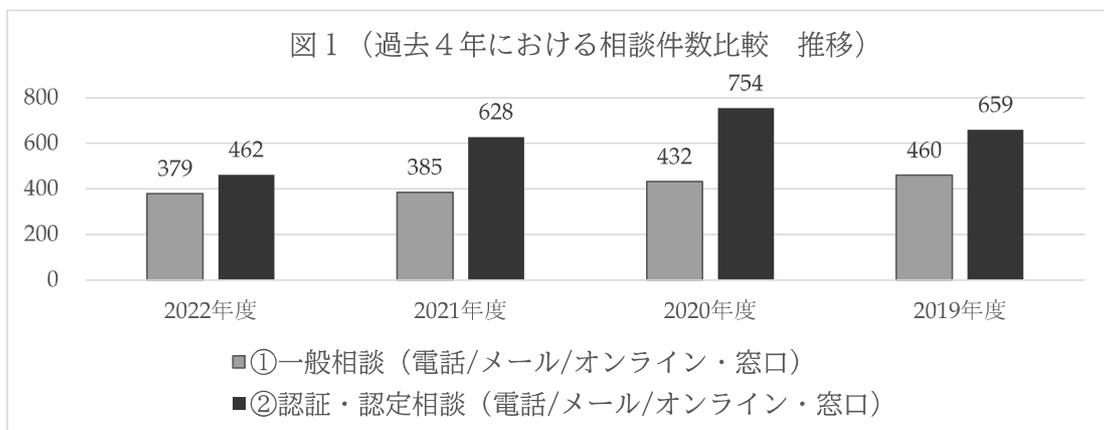
表4 (NPO スポットライト配信内容と年間ページビュー数)

相談	目的	市民活動の多様な相談内容に様々な方法(対面・電話・メール・オンライン等)を講じて対応し、幅広く市民個人および団体の活動促進につながる総合相談窓口として機能を拡充する。
事業計画	◆相談方法での伝達方法(各種 Web ツール)の拡充と実施を推進する。	

関連する事業一覧

- [相談]幅広い分野の市民活動および社会貢献活動等に関する各種相談
- [相談]特定非営利活動法人格取得に向けた相談
- [相談]特定非営利活動法人の認証・認定に関する相談

相談対応実績



●相談件数について(参考:図1)

相談件数は一般相談、認証・認定相談ともに減少した。相談案件そのものの減少は見られないが、1案件の中で複数の相談に対応する状況が減ったことが相談件数減の要因と考えられる。

●相談対応への利用者の評価について

毎年度末に実施するアンケートにおいて相談対応に対する項目を設けたところ、評価は極めて高く、自由記述のほとんどが、迅速性、正確性、専門性の高さ、丁寧な助言に対する評価であった。(利用者アンケートまとめを参照のこと)

相談方法の拡充

●法人設立書類や任意団体の会則、助成金申請書やクラウドファンディングなどにおいては、相談対応しながら書類修正を行えるよう、オンライン相談に誘導した。

●ホームページに掲載している相談フォームを経た相談依頼が定着してきた。閉館日数の多かった2021年度に12件の相談がフォームより寄せられたが、全日開館した2022年度においても、同数の相談があり、それぞれに適切な相談方法を提案し、対応をおこなった。

◆成果◆

従来は代表者が来館し、手元書類に赤字でメモ書きしたものを、団体に持ち帰るスタイルが多かった。オンライン相談では複数メンバーの相談参加が容易となったため、説明の不足によって意見がまとまらない事象を防ぐことができ、また、効率的に書類の修正を行えるようになった。クラウドファンディングに初挑戦する団体には、オンライン・電話・メールなど様々な方法で相談対応を重ね、PR文の作成をサポートした。

相談	目的	市民活動の多様な相談内容に様々な方法(対面・電話・メール・オンライン等)を講じて対応し、幅広く市民個人および団体の活動促進につながる総合相談窓口として機能を拡充する。
事業計画		<ul style="list-style-type: none"> ◆相談後の検証(NPO 設立)およびデータ分析にて、団体の動向調査を実施する。 ◆相談対応職員的能力開発(カウンセリング手法)を推進する。 ◆専門家相談会集客での広報(SNS 活用等)施策を展開する。

関連する事業一覧

- [相談]特定非営利活動法人格取得に向けた相談
- [執行体制]職員の育成
- [相談]専門家による相談(会計・税務分野/労務・登記分野)

NPO法人設立相談後の検証(団体の動向調査)

2020年4月から2023年2月末までの期間に京都市で認証された48のNPO法人のうち、19法人がしみセンにて設立相談を行っていた経緯を確認できた。21年度に設立相談を受けた21団体中、22年度に7団体が法人設立に至った。いずれも設立後もしみセンの相談あるいは講座、情報発信サービスなどを活用している。また、法人設立はしていないが、しみセンとコンタクトを取り続けている団体もある。

◆補足◆
 設立に関する相談は幅が広く、設立をすでに決めて手続き方法を相談されるケースにおいては、法人として認証されていることが多いが、設立がまだ具体的に決まっていない段階では相談者が名乗らないことも多い。そのため、後追いができないケースもある。

相談対応職員的能力開発

- 基本的な相談対応能力を保持するため、職員全員でのケース共有会を2回実施した。
- 若手職員2名の相談対応力向上に努めた。上半期では先輩職員の相談対応に同席し、下半期では若手職員が主対応を担い、先輩がサポートするスタイルとした。

◆成果◆
 若手職員2名の相談件数の伸び 表5

	2022年度	2021年度
職員A	47件	17件
職員B	43件	13件

専門家相談会の広報

- メールマガジンやFacebookにて、コンプライアンスに関する各種アナウンスを行う際に、専門家相談会の活用を促す情報発信をおこなった。
- 認証・認定相談等で来館した団体にチラシを手渡し、相談可能な範囲や活用事例を説明した。

表6 (専門家相談会の実績)

	会計 固定	会計 随時	労務	登記	広報
設置 枠数	32	8	8	8	8
実施 枠数	16	5	3	1	2
2021 年度 実績	9	3	2	0	0

育成	目的	「担い手」と「理解者・支援者」の育成での2本柱の事業展開を推進する。
事業計画		◆オンライン講座の拡充(講座内容向上、配信方法転換)を推進する。

関連する事業一覧

○[情報]活動団体紹介や講座内容の動画配信 ○[育成]研修・講座の企画・運営

講座ラインナップ

●全 23 タイトル 53 回の講座を実施し、延べ 842 名が参加した。

表 7 (講座実績まとめ)

	タイトル数	実施回数	参加総数
初歩系	2	7	439
設立系	7	21 +個別講座	188
認定系	14	25	215

●出張講座では子育て支援サークルから初の依頼があり、子育てや介護を担う女性に対して NPO の活用法をレクチャーした。

◆成果◆

・目標参加者数を上回った講座が 4 タイトル、目標参加者数を下回った講座が 18 タイトル、目標と同数が 1 タイトルであり、参加者数の獲得には課題が残った(講座統計表を参照のこと)。
 ・アンケートから、各講座内容への理解度・満足度が高く、若手職員が講師を担う講座においても、質の維持について一定の成果が見られた。
 ・出張講座では参加者の大半がしみセン初認者であり、しみセンの目的や機能、相談対応の幅についてアピールすることができた。

オンライン講座&アーカイブ(動画視聴)講座の拡充

- オンラインでの実施が可能な講座については、基本的にハイブリッド実施とした。
- アーカイブ講座のラインナップを追加した。
 - ・非営利法人初歩の初歩
 - ・NPO の会計キホンのキホン
 - ・助成金活用セミナー
- これまでに公開しているアーカイブ講座「NPO 法人事業終了後の手続き」を所轄庁の手続き改正に合わせてリニューアルした。

◆実施内容のポイント◆

・アーカイブ講座については、対面講座の内容をそのまま配信するのではなく、動画版に時間を短縮するため、講座内容を精査し、再構築した。また、動画に目次をつけ必要な箇所を繰り返し再生できるようにし、動画概要には相談フォームのリンクをつけ、相談への同線も確保した。
 ・アーカイブを導入した講座においては、対面やハイブリッド開催の申込者数が減少している。



【Web講座】非営利法人初歩の初歩

限定公開

Kshimisen ...
チャンネル登録...

アナリティクス

動画の編集

0 共有 クリップ ...

◆チャプター

0:00 はじめに
 2:10 そもそも法人格って何？
 4:17 任意団体の特徴
 6:25 NPO法人の特徴
 13:14 一般社団法人の特徴
 21:18 非営利型一般社団法人の主な特徴
 24:35 おさらい：NPO法人と一般社団法人を比べると

◆講座視聴後のご質問・お問い合わせ

フォームを利用する方はこちら(オンライン相談のご予約もこちらから)
<https://shimisen-kyoto.org/contact>

お電話はこちら
 075-354-8721

※NPO法人の設立に関するご相談は予約不要で、開館時間内はいつでも対応可能です。ゆっくりと相談されたい方はぜひご予約ください。

育成	目的	「担い手」と「理解者・支援者」の育成での2本柱の事業展開を推進する。
事業計画		◆市民活動支援チャリティ公開講座の運営面での効果的な展開策を推進する。

関連する事業一覧

- [情報]市民活動団体紹介や講座内容等の動画配信
- [情報]SNS等を活用した情報発信 [育成]研修・講座の企画・運営
- [育成]市民活動総合センターフロアを活用した団体と関心層等の出会いの演出
- [交流・連携]市民活動団体をはじめ、自治会等の地域団体、大学、企業および行政機関との連携
- [交流・連携]寄付文化の醸成

市民活動支援チャリティ公開講座(以下、「公開講座」)(全4回)

●クリスマスチャリティーコンサート

【開催日】12月24日
 【演奏】京都プラスバンド
 コロナ禍の入場制限が解け、規模を200人定員に戻して開催した。



◆成果◆

【参加者数/申込人数】149名/219名
 【寄付額】97,316円
 ・新型コロナ「第8波」の流行と重なったことで直前のキャンセルが相次ぎ、参加者減となった。
 ・開催ノウハウが蓄積され、人的労力を最小限にとどめたスムーズな運営を行うことができた。
 ・アンケート回答者の内4割がしみセン初認知者であった。

●『地・結・継・祭』～地域の取組、それぞれの継承～

【開催日】11月28日
 【登壇団体】はねずおどり保存会、嵯峨大念佛狂言保存会、八瀬郷土文化保存会
 ※各保存会より3名の登壇
 【コーディネーター協力】京都市まちづくりアドバイザー小林明音氏
 【パネルディスカッションテーマ】
 ①保存会と地域コミュニティの関わり
 ②地域の課題とどのように向き合っているか
 ③技を継承するための工夫



◆成果◆

【参加者数/申込人数】97名(+関係者41名)/119名
 【寄付額】33,000円
 ・令和3年度発行「hotpot75号」の連動企画として実施。小林氏はしみセン運営委員でもあり、まちづくりアドバイザーとの両立場から企画運営に協力いただいた。
 ・参加者の中には自治会役員、祭り保存会4団体、博物館職員などの専門職もあり、講座を機に2団体からしみセンへの相談があった。

◆成果補足◆

登壇保存会同士の交流が活発になり、合同企画が構想されている。また、登壇した保存会の一つでは、パネルディスカッションでの発言を機に、継承における課題への具体的取組が開始されその状況に他保存会が刺激を受けるなど、個々の保存会においても成果の好循環が出ている。



●ヒットドラマで考える日本と世界のジェンダー

【開催日】2月4日(フルオンライン)

【講師】治部 れんげ氏

ドラマを、社会構造を映す鏡として、また他国との文化比較の道具として、私たちを取り巻く環境をとらえ直すきっかけとすることを目的に、各国の文化的背景の文脈でドラマの構造を捉える視点からヒットドラマについて講演いただいた。



◆成果◆

【参加者数／申込人数】55名／81名

【寄付額】—(カウント不能)

・従来の広報では届けられない層にアプローチするため、民間のイベント広報サイト(有料広告)を活用した。申込数と参加者数に大きなズレが生じたことは課題だが、他の公開講座に比べて30代・40代の割合が高かった。
・今までにないテーマを取り上げ、しみセンを知らない層にアピールすることが出来た。

◆考察◆

これまで対面参加を前提として公開講座を企画してきたが、オンライン参加を可能とすることで、空間的制約を取り除くことができたことが、30代・40代の参加を高め、しみセンとの新たな出会いを作った。

●『堀川新文化ビルディング』は

新しい「アートと交流」の拠点

【開催日】3月4日

【講師】大垣 守可氏

堀川団地再生事業の一環として取り組まれた「堀川新文化ビルディング」について、施設開設のプロジェクトリーダーとして活動された大垣書店の大垣守可氏(現 堀川新文化ビルディング ディレクター)に、ビル開設までの取組についてご紹介いただいた。



◆成果◆

【参加者数／申込人数】23名／27名

【寄付額】7,210円

受講者の多くはしみセンの利用者であり、新たな層への波及効果はそれほど高いものではなかった。一方、この講演を機に5~6年ぶりにしみセンに来館した利用者もあり、「つながり直し」の意義が高い講座となった。

◆考察◆

京都新聞に告知記事が掲載されたが、休館日に記事が出たことで電話問合せに対応できず、機会損失を招いた可能性がある。

育成	目的	「担い手」と「理解者・支援者」の育成での2本柱の事業展開を推進する。
事業計画		◆スモールオフィス入居団体と様々な事業での接点強化を推進し、団体育成を強化する。

関連する事業一覧

- [相談]幅広い分野の市民活動および社会貢献活動等に関する各種相談
- [育成]スモールオフィス入居団体の選定、各種手続き、使用料の徴収、自立に向けた支援
- [交流]いきいき市民活動センターとの連携

様々な事業での接点強化

- 京自助具館が市縁堂に参加。拠点移転について、参加者から助言をいただいた。
- 入居3団体への伴走支援(法人実務、助成金申請、事業計画など)を実施した。

◆成果◆

- 【新規入居】1団体(4月入居)
- 【年度途中退去】1団体(8月末退去)
- 期首入居団体数=7
- 期末入居団体数=6(内、三月末退去1団体)

入居団体 報告&交流会

- 4月報告交流会
 - 【開催日】①4月22日 19:00~21:00
 - ②4月23日 14:00~16:00
 - 【交流テーマ】「私たちの活動資源(寄付金・ボランティアなど)の獲得方法」
- 10月報告交流会
 - 【開催日】①10月7日 18:30~20:30
 - ②10月8日 14:00~16:00
 - 【交流テーマ】「自分たちの活動内容、特性に適した組織形態と運営を考える」

※各会ともに実施においては、東山いきいき市民活動センターと合同開催



◆事業の改善・工夫◆

従来の「成果報告会」は、それぞれの団体が提出した活動報告書をもとに、半年間の活動報告と、他団体との意見交換を行うという形式で実施してきた。しかし、活動報告で聞いた情報だけをもとにした意見交換は表層的になりがちで、真の課題に近づいた議論が行われにくくなってきたという課題認識があった。そのため、本年度はどの団体にも共通するテーマについて事務局から話題提供し、これをもとにワークショップやグループディスカッションを行うことを通して有意義な情報の交換や新たな知見を得ることを目的とした内容に変更した。

◆成果◆

表8 (報告&交流会参加団体数)

	しみセン入居	東山入居
4月参加	6団体	9団体
10月参加	5団体	6団体

育成	目的	「担い手」と「理解者・支援者」の育成での2本柱の事業展開を推進する。
事業計画		<ul style="list-style-type: none"> ◆学生と市民活動団体との接点開発を促す事業を推進する。 ◆団体のガバナンス・コンプライアンス・ディスクロージャーを促す事業展開を実施する。

関連する事業一覧

- [育成]市民活動の資源を活用した多様なコーディネート
- [交流・連携]ボランティア・コーディネートの充実
- [交流・連携]さまざまな分野の機関における機関
- [育成]研修・講座の企画・運営
- [情報]活動団体紹介や講座内容の動画配信
- [情報] SNS 等を活用した情報発信

学生ボランティアチャレンジ(受入れ団体サポート)

- 輝く学生応援プロジェクト 学生 PLACE+と連携し、「学生ボランティアチャレンジ(以下、「ボラチャレ」)」を実施した。

◆成果◆

【プログラム数】 22 ※受入れ団体数
 【プログラム受入れ延べ人数】 93 名

【学生アンケートからの考察】

「NPO・市民活動団体やボランティアに対するイメージが変化した」「初めてでも参加しやすく、サポートが充実していた」「ボランティア活動にこれまで参加しなかったが、悩むより行動することが大切だと気づいた」という感想が多かった。コロナ禍により、学生自身の活動に制限がかかっていたことから、ボラチャレを通し、学外活動に参加することの楽しさや学び・経験を得るきっかけにつながられた。

【受入れ団体アンケートからの考察】

感想では、受入れを通じ、学生の学びや気づき、出会いにつながる体験を提供できたことへの安堵が多くみられた。団体自らが「体験の1日で嫌な記憶が残ってしまうと、今後ボランティアをする気にならないだろう」と捉え、各分野の活動を代表するという思いで受け入れいただいた。本プログラムは本年度で終了となるが、9年間の実施を通し、市民活動団体が学生ボランティアを受け入れるにあたっての基本姿勢やノウハウが、深まったといえる。

ガバナンス・コンプライアンスの促進

- アーカイブ講座「事業年度終了後の手続き」の配信期間を通年にした。
- ガバナンス・コンプライアンスに関する講座を7タイトル実施した。
- 各種実務への意識が高まりやすい時期に、メールマガジン冒頭文と Facebook にてコンプライアンスを促した。
- ポータルサイトに NPO 法人の通常総会進行台本見本を掲載(再掲)

◆成果◆

講座広報も一種のコンプライアンス啓発と捉え、講座内容にコンプライアンス違反を連想させるケースを記載した。結果、各種情報発信に呼応して、コンプライアンスに関する運営相談やコンプライアンスを意識した法人実務相談が増えた。

表 9 (メールマガジン冒頭文の配信内容)

4/15号	事業年度終了後の各種手続きについて
5/30号	役員改選年の法人実務のワンポイント豆知識
6/15号	貸借対照表の公告をお忘れなく
8/15号	税務・労務・登記の相談ケース事例
11/30号	事業年度終了後の実務や会計は動画講座で学べます

交流・連携	目的	多様なセクターとの連携による各種事業展開の拡充をはかる。
事業計画		◆市縁堂の運営・実施に関わる多様なステークホルダーとの連携構築にて実施する。

関連する事業一覧

- [育成]市民活動の資源を活用した多様なコーディネート ○[交流・連携]交流型イベントの企画・運営
 ○[交流・連携]大学や学生団体等との連携 ○[交流連携]寄付文化の醸成

市縁堂 運営スタイル転換の実験的取組

市縁堂は、従来の1日のイベント型から運営スタイルの転換を図るべく、実験的な取組を行った。市縁堂を通じて、団体への継続的な支援につながるきっかけとなったり、団体の事業運営力や基盤の強化にもつながったりする要素を新たに取り入れた。なお、エントリーした団体に、市民公開講座等で集めた寄付を等分する取組は引き継いで実施した。

【市縁堂 2022】

団体募集期間:2023年1月8日～1月22日
 Web サイト、メルマガ、Facebook などでの広報

応募数:5 団体(うち1 団体辞退)

- (1)特定非営利活動法人京自助具館
- (2)特定非営利活動法人くらしコープ
- (3)特定非営利活動法人竹の子学習ひろば
- (4)みらい発信局おむすび 静原応援隊

スケジュール:

- 2/10 京都市広報発表、特設サイトオープン
 2/19 団体交流会
 (プログラム「寄付の教室」の実施)
 2/24 京都地域創造基金の寄付募集開始
 3/17、20 トークサロン

京都地域創造基金での寄付募集

募集期間:2月24日～3月31日
 寄付者数7人、寄付額38,000円



団体交流会の様子

◆成果◆

- ・トークサロン参加者
 【3月17日】10名
 【3月20日】15名
- ・市縁堂実行委員会をはじめとするトークサロンの参加者からは、団体への様々な提案が行われた。そのことは団体にとって、自分たちの活動やその背景を理解してもらうために発信に工夫が必要であることに気づいたり、従来にはなかった視点やつながりを得て、新たな展開への意識が高まったりすることにつながり、団体育成の面での成果はあったと考える。
- ・公開講座等での寄付額を合わせて、団体に等分に渡した。(34,808円/団体)。

◆課題◆

従来からも課題としている寄付額や寄付者の範囲の拡大などについては、効果的な方法は導入できておらず、課題として残っている。



トークサロンの様子

<トークサロンにおける団体への情報提供や気づきの状況>

○京自助具館

- ・新事務所としての物件希望に対して参加者から2件の具体的提示があり、団体がアプローチ。物件の借用には至らなかったが、福祉関連事業を手掛ける事業者との出会いとなり、収入確保の方法についてアドバイスをもらうなど、団体にとっては目線が変わる機会になった。

○静原応援隊

- ・自分たちが所属する京都産業大学以外にもメンバー募集をするルートを得た。
- ・参加者から、トラクター修理に協力してくれそうな静原近隣の事業者を紹介してもらった。

○竹の子学習ひろば

- ・参加者に市職員がおり、市役所で竹の子学習ひろばとつながりたがっている部署があるので、つなげられるとの提案があった。

○くらしコープ

- ・団体が取り組む課題そのものがなぜ生じるのかについて理解が得にくいことが認識され、課題の理解を広める必要性が改めて認識された。



参考：参加者からの感想や質問、協力の情報

交流・連携	目的	多様なセクターとの連携による各種事業展開の拡充をはかる。
事業計画		◆「いきいき市民活動センター」との事業連携を検討する。 ◆『しみセンつながるネット』の運営拡充をはかる

関連する事業一覧

- [相談]幅広い分野の市民活動および社会貢献活動等に関する各種相談
- [育成]市民活動の資源を活用した多様なコーディネート ○[育成]研修・講座の企画・運営
- [交流・連携]いきいき市民活動センターとの連携
- [交流・連携]市民活動団体をはじめ、自治会等の地域団体、大学、企業および行政機関等との連携

いきいき市民活動センターとの連携

これまで関係性づくりを積み重ねてきたことが実を結び、各いきいき市民活動センター(以下、「いきセン」)の事業や日常業務における連携が進んできた。令和4年度は5つのいきセンと連携事業を行った。

表 10

下京	神奈川県寒川町寒川東中学校からの修学旅行生(約 120 名)の受入を共同で実施した。※しみセン=5 団体、下京いきセン=4 団体
	オムロン株式会社の社員ボランティア(清掃)活動における、受入れ先団体の仲介(1 団体)を共同で実施した。
上鳥羽北部	「上鳥羽エコまちくらぶ※」(支援事業)の立上げに対し、企画にアドバイザーとして参画。計 4 回の合同会議に参加する他、参画団体(認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド)との方向性調整やチラシへの助言を適宜行った。 ※上鳥羽北部いきセンが進めてきた環境教育の取組を、地域住民主体で行うもの。既存の活動をベースに、ゆくゆくは地域住民が企画・実施を行いながら様々な取組を生み出していくことを目標としている。企画運営主体は、上鳥羽北部いきセンと認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド。
	職員研修の受け入れを行った。(しみセン事業の企画会議への参加/2 名)
岡崎	聴覚障がい者団体が企画している「手話マルシェ」の企画および実施を、役割分担してサポートした(企画サポート:岡崎いきセン/実施サポート:しみセン)。
中京	市民活動支援事業の方向性についての助言を行い、連携先候補となる機関(マザーズハローワーク烏丸御池)との連携事業をコーディネートした。
	12 月 17 日:出張講座「ケアを担う方をサポートするためのセミナー」実施 ※参加者 12 名(いきセンスタッフ 2 名含む)
醍醐	10 月 5 日に開催した「分野別センターの合同研修」にて、呼びかけ人として、ともに参画した。



←中京いきセン出張講座の様子
参加者はすべてケアを担う女性

分野別センターとの連携事業

社会課題の多様化・深刻化による活動の広がり、各施設利用料の値上げによる市民公益活動団体の資金獲得支援の必要性の高まりから、分野別センターがつながることの重要性を鑑み、実験的に合同研修を実施した。

企画目標の設定においては、テーマである「助成金相談対応の基礎知識」を得るだけでなく、各センターとの連携や情報共有・情報交換の機会の必要性に気付いてもらうことを上位目標とした。

- 分野別センター合同職員研修会
(中間支援職員向け助成金セミナー)
- 【開催日】10月5日 14:00~16:00
- 【呼びかけセンター】福祉ボランティアセンター、しみセン、青少年活動センター、京エコロジーセンター、醍醐いきセン
- 【参加対象】入職から3年程度の職員や、助成金相談対応について基礎を学びたい職員
- 【参加者】34名(申込36名)

◆成果◆

- ・講座の満足度に関するアンケートで、83%が「満足」、17%が「やや満足」と回答し、実験的な取組としては大きな評価を得た。
- ・自由記述では「相談を受けた際に気をつけることがわかった」という回答が目立った。
- ・「各センターの役割やどんな協力がしあえるかを共有できる機会がほしい」という感想も多く、令和5年度以降の定期実施に足がかりを得ることができた。

表 11 アンケートより 参加者の属性 (回答数 30)

	大学		区社協		いきセン		その他※		合計 (人)
参加区分	4	11.8%	11	32.4%	5	14.7%	14	41.2%	34

※その他内訳…景観・まちづくりセンター4、京エコロジーセンター3
福祉ボランティアセンター3、まちづくりアドバイザー1、青少年活動センター1、
学生 Place+1、しみセン1

「しみセン“つながる”ネット」

しみセンつながるネットは、町内会・自治会などの地域組織とNPO・市民活動団体の連携を促すコーディネート仕組みである。2021年の夏に広報を開始した。

2022年度も、コロナ禍による地域活動の停滞の状況などの影響もあつたか具体的なマッチングの成立にはいたっていない。しかしながら、自治会・町内会からは年間で2~3件、会の運営に関する相談があつた。

- 町内会からの相談については、NPO法人化に関するもの従来からあつたが、町内会の運営としての相談があつたのは、2022年度の特徴である。地域支援の経験を持つ職員が、こうした相談に対応している。
- 印刷機や公開用パソコン等の施設について町内会などの地域組織の利用があつた場合は、つながるネットのチラシを渡して説明をするなどの広報を行っている。
- 地域情報の把握のため、京都市まちづくりコーディネーターとの情報交換や勉強会への参加などを行った。

交流・連携	目的	多様なセクターとの連携による各種事業展開の拡充をはかる。
事業計画		◆コロナ禍におけるボランティア・コーディネートの改善に向けた現状調査を行い、分析する。

関連する事業一覧

- [情報]市民活動に関する情報の収集・提供
- [情報]団体情報収集・管理
- [交流・連携]ボランティア・コーディネートの充実

ボランティア受入れ・ボランティア活動に関するアンケート調査

コロナ禍を経て、民間による公益活動の展開、特に「ボランティア」の特徴やスタイルの変化について探るべく、NPO・市民活動団体を対象に、ボランティア受入れおよびボランティア活動に関する現状や課題についてアンケートを行った。

●調査対象(総数 1017 団体 + α)

- ①京都市を所轄庁とする NPO 法人(2022 年 10 月末時点で認証されている法人)
- ②しみセンのインフォメーションサービス登録団体
- ③各区社会福祉協議会ボランティアセンターでの調査票の配架(11 か所、各 5 部配架)

●調査方法

- ・調査対象①・②:アンケート調査票の郵送、または Google フォームを利用した Web アンケートとアンケート調査票のデータをメール送付
- ・調査対象③:アンケート調査票の配架

●実施期間:2022 年 11 月～2023年1月

◆成果◆

回答数	128団体
本調査の対象とした団体からの回答数	125団体
本調査の対象とした団体からの回答数のうち、有効回答数	113団体 (無効回答数 12)

◆アンケート結果の分析まとめ◆

今回のアンケート結果から、以下 3 点が明らかとなった。

①コロナ禍における各団体のオンラインの活用について

コロナ禍において、事業の広がりが見られた団体が 3 割程度あった。多くがオンライン化によるものであり、ボランティアの参加機会の喪失を防ぐ目的も兼ねていたと推察される。コロナ禍でもたくましく、また、柔軟に活動してきた市民活動団体の存在を確認できた。

②ボランティアのモチベーション維持、コミュニケーションとケア

コロナ禍のボランティア受入れに関する工夫として、「コミュニケーションの工夫」を挙げる団体が多かった。方法は様々であるが、世代にあったコミュニケーションツールを選択していることが共通点であった。アフターコロナのボランティア受入れにおいても、世代ごとあるいはライフスタイルの違いを考慮したコミュニケーションの工夫が必要となると考えられる。

③求めるボランティア像

長期継続、若い世代、ボランティア個人の資質やスキルを明確に記載した団体が多く、また、団体運営や活動の即戦力となることを求めるような傾向も一部で見られた。一方、募集してもボランティアが集まらないことを課題として挙げる団体が多く、ボランティアを希望する市民と、団体が求めるボランティア像の間にズレが生じている可能性が高い。

施設管理	目的	with コロナ社会の中において、利用者にとって可能な範囲での利便性を考慮したセンター機能の充実とサービス提供を推進する。
事業計画		<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染再拡大防止のため、徹底した防止策を継続する。 ◆共有利用機材(PC・印刷機等)使用の管理を徹底し、利用度を高める。 ◆オンライン会議実施場所としての機能を整え、利用者の利便性向上を推進する。 ◆館内全設置機材(新・旧)の維持・修繕をはかる。

関連する事業一覧(施設管理)

○市民活動総合センター内の施設管理

○事業活動、広報活動を促進するための拠点としての作業環境の向上

感染拡大防止対策

- 手指消毒用アルコールの設置、感染予防行動の案内の掲示を行った。
- 来館者が利用する施設や機器(机、椅子、パソコン、印刷機等)の使用後には逐次アルコール消毒作業を実施した。
- 規制解除に伴い、ミーティングルームやフロアの椅子を再整備して人数制限をコロナ禍以前に戻し、利用案内を刷新するなど、時勢に合わせて施設管理を行った。

◆成果◆

感染防止対策の徹底により、施設内でのクラスター感染の発生はなかった。

機器・設備管理

- 公開用 PC の保守管理として、ウィルスセキュリティの脆弱性改善更新やシステムアップデート等、メンテナンスを随時実施した。
- 印刷機や紙折り機、丁合機等について、インク汚れやインク詰まり防止のためのメンテナンスを定期的に行った他、利用方法について適宜説明やサポートを行った。

◆成果◆

- ・利用者が安全に PC を利用できる環境を常時提供できた。
- ・大きな機器トラブルを起こすことなくサービスを提供できた。

オンライン会議スペースおよび機材貸出サービス

- 利用者がスムーズなオンライン会議運営ができるよう、オンライン設定のサポートを行った。
- 新規の貸出し用ノート PC や貸出用イヤホンを購入した。

◆成果◆

貸し出し機材の充実とソフトサポートの実施により、オンライン会議の利便性が向上した。

館内備品の維持・修繕

スモールオフィスの残置物の処分や館内に設置しているごみ箱の整理等を行った。

※ひと・まち交流館 京都の男性用トイレへのサンタリーボックスの設置に併せて、清掃スタッフの負担軽減策を全館で協議し、しみセンではフロアに設置していたごみ箱を 6 個から 3 個に減らした。

◆成果◆

ごみ箱半設置数削減の意図を Facebook にて発信したところ、通常よりも多い「いいね」があり、社会課題への理解も拡げることができた。

センター運営管理	
事業計画	設定なし

関連する事業一覧

- [情報]市民活動に関する情報の収集・提供
- [交流・連携]市民活動団体をはじめ、自治会等の地域団体、大学、企業および行政機関との連携

視察対応

9 団体 144 名の視察を受け入れた。

以下、特徴的な視察依頼を掲載する。

- JICA 研修(マレーシア) /7 月 20 日(15 名)
マレーシア国ジョホールバル市に「エコセンター(仮称)」新設にあたり、市民公益活動支援センターの機能や実践事例を学ぶ
- 高知市一宮ふれあいセンター
地域活動の拠点を運営する職員や運営委員(地域住民)による視察。しみせんの事業内容を紹介。
- 京都市立旭岡中学校 1 年生 /11 月 24 日(17 名)
地域共生や社会貢献、市民が主体となって活動している取組の事例を紹介。
- 京都芸術大学 2~4 回生(梅山ゼミ)
/12 月 22 日(10 名)
NPO・市民活動支援の必要性や京都の市民活動の状況について学ぶ
- 宇都宮市みんなでまちづくり課 /1 月 12 日(3 名)
しみセンによる協働のコーディネート事業(特に、教育機関や学生、自治会との連携)について質疑応答。

◆成果◆

- ・行動制限が解除され、海外や教育機関からの視察が急増した。視察対応資料を英語や子ども向けに作り直すなど負担もあったが、これまでになかった依頼に対応できたことで、しみセンとしてのネットワークも広がった。
- ・視察対応にあたっては、依頼者のニーズに合わせてカスタマイズするとともに、若手・新人職員も対応を担い、人材育成の一環とした。



運営委員会

運営委員会は、利用者である市民、市民活動団体、企業のほか、学識経験者、京都市により幅広く構成された組織で、センターの指定管理者が推進するセンター事業への助言、意見陳述を行っている。

令和 4 年度は 15 名に就任いただいている。

- ・第 1 回運営委員会 7 月 6 日 18:30~20:00 (出席委員 13 名)
- ・第 2 回運営委員会 12 月 7 日 18:30~20:30 (出席委員 11 名)
- ・第 3 回運営委員会 3 月 14 日 18:30~20:00(出席委員 12 名)

市災害ボランティアセンター運営事業	目的 防災・減災を主軸とした「災害に強いまちづくり活動」を推進する。
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ◆共同運営機関(京都市・市社会福祉協議会)との連携強化を推進する。 ◆有事の際、被災地支援活動協力を推進する。 ◆市災害ボランティアセンター主催等の講演会等への運営側として、継続して参画する。 ◆連携先(大学・企業等)拡充の共同推進をはかる。 ◆市災害ボランティアセンターの基幹運営業務に継続して参画する。

関連する事業一覧

○京都市災害ボランティアセンター運営参画

共同運営機関(京都市・市社会福祉協議会)との連携強化

- 定期的に開催する市災害ボランティアセンター(以下、「市災ボラ」)運営会議に参画し、共同運営機関との安定的かつ迅速な運営に努めた。
- 災害ボランティアに関心がある、または災害ボランティア活動に期待できる人材の確保に努めるとともに、市災ボラの活動趣旨の啓発活動につなげるため、本会議にて共同運営機関と協議し、新たに「サポーター制度」の創設に至った。

市災ボラ主催等の講演会等への運営参画

年間を通して、以下の各種講座・研修会の運営に参画した。

- ・4/28 京都府立東陵高校での災害ボランティア講座
- ・10/31 区役所・市区災ボラ新任・担当者向け合同研修会
- ・12/3 災害ボランティア入門講座
- ・2/25 市災ボラ運営サポーター養成講座

連携先(大学・企業等)拡充の共同推進

新たに「市災ボラ運営サポーター制度※」を創設し、連携先(大学・企業等)への広報を行い、協働推進の基盤づくりを行った。

※京都市内で災害が発生した際に市災ボラの運営者として活動するコアボランティア

市災ボラ基幹運営業務の継続参画

- 上記運営会議への参画のほか、ホームページ・SNSによる他地域の災害・災害ボランティア情報や研修案内等の情報発信を行った。
- スタッフ用備蓄品の整備や在庫管理、文書管理、出金管理等、市災ボラの期間運営業務に参画した。



市災ボラ運営サポーター養成講座の様子



京都市総合防災訓練にブース出展した際の様子

しみセン利用者アンケート 2022 年度 集計結果

【実施期間】2023年2月22日から2月21日

【回答対象者】しみセン来館者、メルマガ登録者、ロッカー・メールボックス・スモールオフィス利用者

【配布・周知方法】来館時の手渡し、メールボックスでの配布、メールマガジンや館内掲示での回答呼びかけ

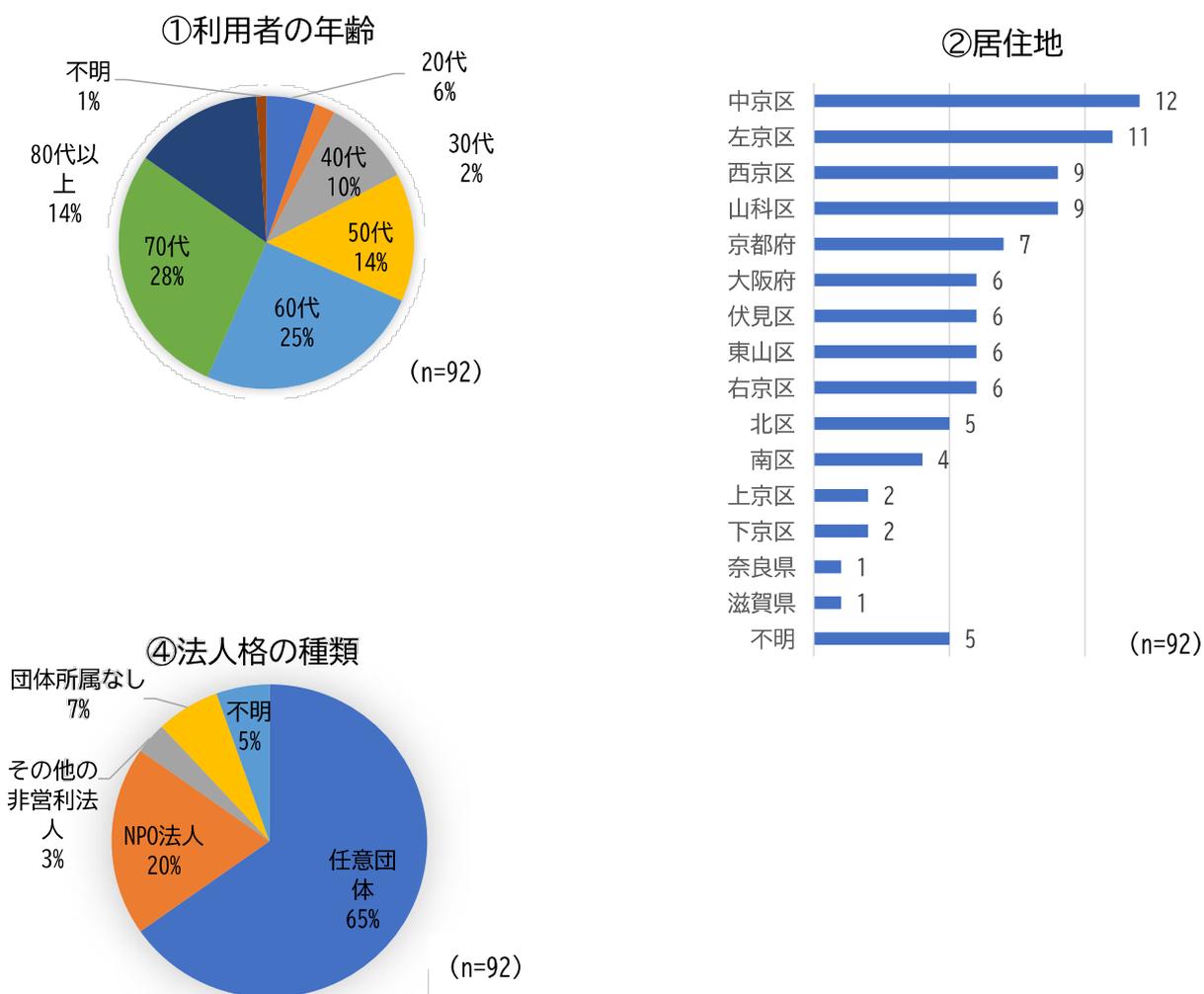
【回収方法】①記入した用紙をカウンターで回収 ②ウェブフォームでの入力

【回答数】92件（紙：75、フォーム：17）

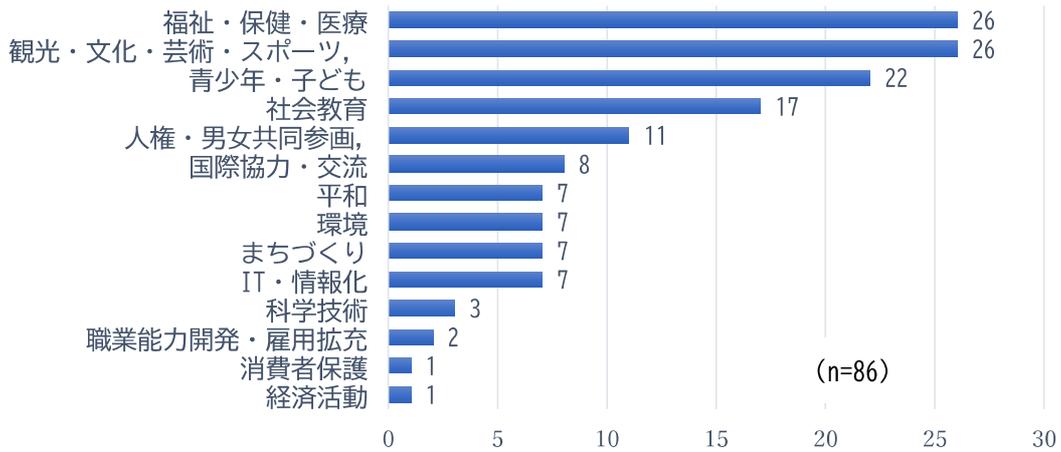
このうち、団体名の記載から把握できたのは67団体だった。

【備考】回答内容には、しみセンほか福祉ボランティアセンターやひとまち交流館会議室等と混同していると思われるものが一部見られるが、そのまま掲載している。

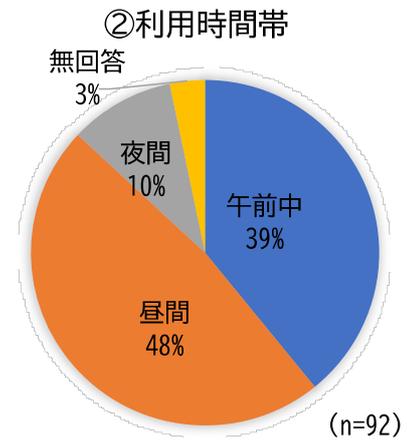
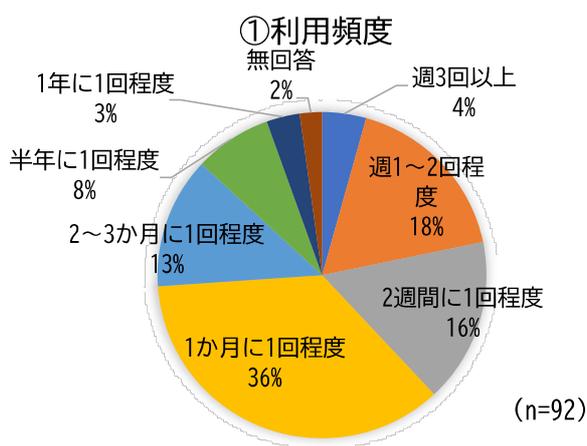
I 回答者・団体等属性



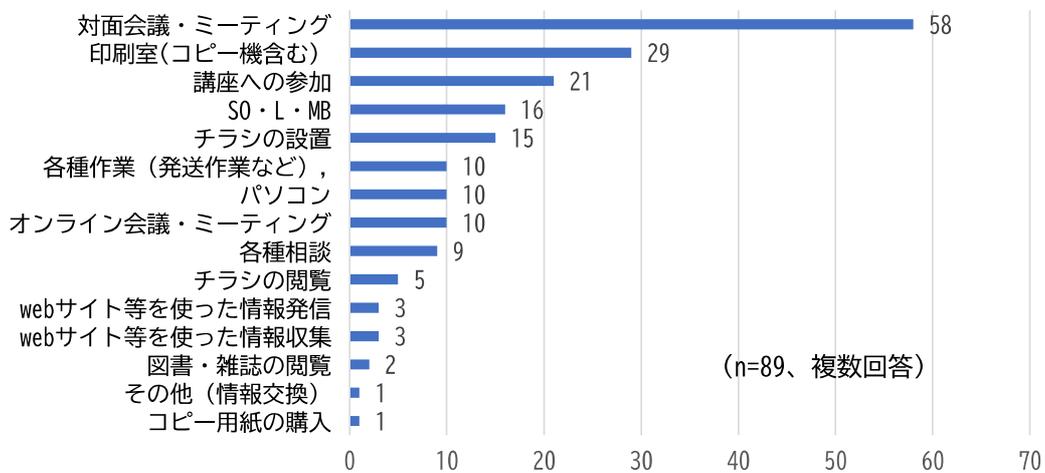
⑤活動分野（複数回答）



II しみセン利用状況



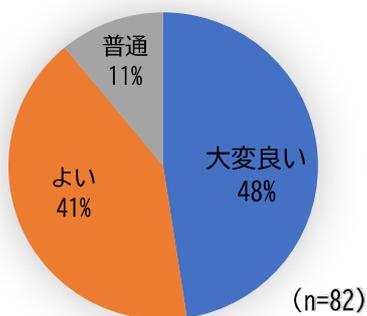
③普段おもに利用する機能・サービス



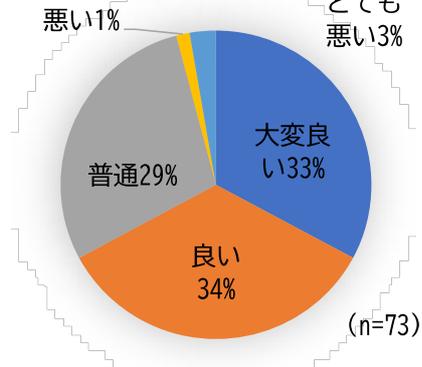
④今後使いたい、あるとよいと思う機能（自由記述）

現状で満足	<ul style="list-style-type: none"> 今のようで満足です。 特にありません。設備が整っているので。 従来通り使わせて頂きたい。
wifi 環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体のみで使用できる時間無制限の WIFI 環境 Wifi の充実（ネット環境がよくない） 現在 Zoom を使用しているが、もっと上達したい。
設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ロッカー（無料または低料金）の数をもっとたくさんあればいいと思います。また1年更新は厳しいので、長期で借りられるようにしてほしいです。 ミーティングルーム 紙そろえ機と紙数え機 紙そろえ機（ブルブルするやつ）、紙数え機、電動継裁機、製本機（中としホッチキス） PC が使いにくいので、もっと機動が短時間のものがよい。しみセンではないのですが、交流館会議室でもオンライン（ハイブリッド）ウェビナーがしたい。 パソコンを持っていない人がオンライン講座や会議に参加できる場所があると良いと思いましたが、市民活動との線引きが難しいですね。機能ではありませんが市民活動グループ間の交流などはいかがでしょう？
機会	<ul style="list-style-type: none"> 他団体と知り合う機会、相乗効果が生まれる機会があったら、もっと「ここで集まろうか」と会員で話し合えるような気がします。 物販などが出来たり、イベントが合同でできたりしたら嬉しいです。あと、活動団体が主催や代表同士のセッショントーク会みたいなことをしていただけたらと思う

⑤ミーティングルーム
評価



⑥印刷機・パソコン・コピー機
評価



【ミーティングルーム使い勝手コメント】

大変よい	<ul style="list-style-type: none"> 明るくていいです。しかし、予約がとりづらいのと有料なのがネック。 使用する時の予約ができない事はふえています。その日急な時に空いていたら直ぐ使用できるところ。 心と会議が必要なときに使えて助かっている。 明るくて設備も整って居心地が良いです。 滞りなくオンラインミーティングを行えたため 静かで明るくスペースも充分あり、会議・研修に使い勝手が良い。 会議がしやすいです。 1と2を合体できるし、閉鎖性も守られ、オンラインがしやすい とてもキレイで使いやすい 室が静かでいいです よい環境を頂いて、かんしゃ。 行きとどいている ミーティングに適した広さ。フロアよりも話し合いしやすい。①はエアコンの洗浄剤？と思われる香りがあり体調が悪くなります。 無料
------	--

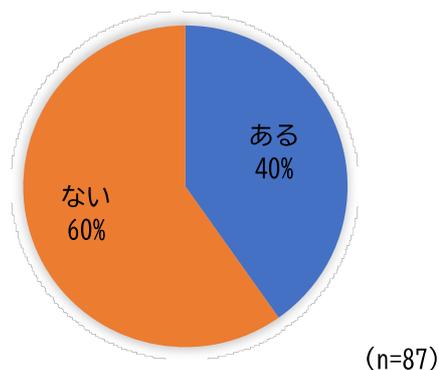
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料の為
よい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前使わせていただきました。集中して打ち合わせができたので使い勝手が良いと感じました。 ・ 対面で静かで会議がしやすいです。 ・ 手軽に使える ・ エアコンが機能している。 ・ 事前予約ができるともっと助かります。 ・ まだ一度しか使った事がないけれど使い勝手は良かったから。 ・ 予約が不要なので急に使いたいときに便利。確実におさえない総会などでは予約できるのが良い ・ 役員会、打ち合わせ等に適している。 ・ 使用内容に大きな制約がない ・ 使いやすいのと、安心、安全で使用できる！！ただ予約がとりづらいことがあるのでよいとしました。
普通	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度（一定の条件や回数制限など）条件があっても予約できるともっと助かります。 ・ 事前予約ができない。 ・ まわりの利用者に気を遣うことがあります。 ・ 借りたい団体が重なると主張のつよい団体が優先される。 ・ 使用用途が限られていた気がします。

【印刷機・パソコン・コピー機使い勝手コメント】

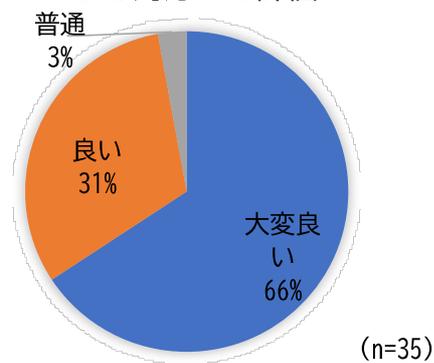
大変良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷機の使用法がわからず（すぐに忘れてしまう）、職員さんにお手数をおかけしてしまうので恐縮しています。 ・ 大量に印刷するときに早くて良いです。 ・ 安い、早い、きれいにコピーできる。 ・ コストパフォーマンスがコンビニより良い。 ・ ただパソコンのうごきがおそい。 ・ 美しい印刷で周辺機器もよい。安い！！しかしコピー機はコンビニと様式がことなりとまどいます、いつも。 ・ 最新 PC ・ 便利 ・ 使用方法などご親切に対応して下さいます。 ・ すいている、安い ・ 印刷がきれいで早くて良いです ・ 手軽に使い、折り機がある ・ 低料金 ・ 広さ、低料金、案内もスムーズ(予約も可)、とても利用しやすいです。作業しやすい。
よい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手軽に使える ・ 安いし使い勝手はよいが、大量印刷でないとかえって面倒だったりもする。 ・ 私が作成・調査して、わがチームの人達に配布しているため ・ 使い方にとまどう時もあります。 ・ 例会等に配布する資料作成に適している。 ・ あまり利用していません。
ふつう	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンの起動が遅い ・ PC は使いやすいが起動に時間がかかり、急ぐときに困ります ・ パソコンのたちあがり非常に遅いし、立ち上がってからとても重い ・ パソコンがデスクトップなので…というのと、コピー代は、他の方が5円でできたりするので。ただ設備としてあるのはとてもありがたい。 ・ 料金が安い。カンプリ並みにして下さい。 ・ パソコンが必要な時、直ぐ使わせてもらってありがたかった。 ・ 持ち込みなしでも急場しのげる ・ あまり使った事はないが、よく利用されているのを見ている。 ・ たまにトラブルあり ・ 使用したことが無いです ・ 使用したことがありません。

	<ul style="list-style-type: none"> あまり利用していない。 ほとんど使っていません。オンラインがメインで印刷物を使うことが少ないです。 あまり使ったことがありません。
悪い	<ul style="list-style-type: none"> 印刷機…1色機でカラー印刷したい。 パソコン…動作が遅すぎる！
とても悪い	<ul style="list-style-type: none"> 印刷機や裁断機に汚れがついていることが多い。いつもありがたく使っているが、できればもう少しメンテナンスの頻度を増やせるように予算をとってほしい。

⑥A) 相談経験の有無



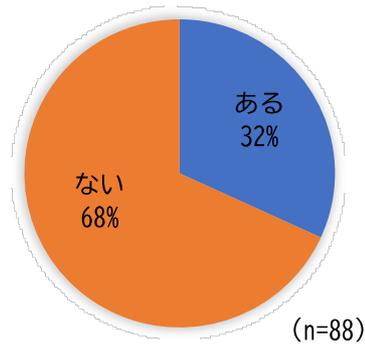
⑥B) 「相談経験がある」のうち対応への評価



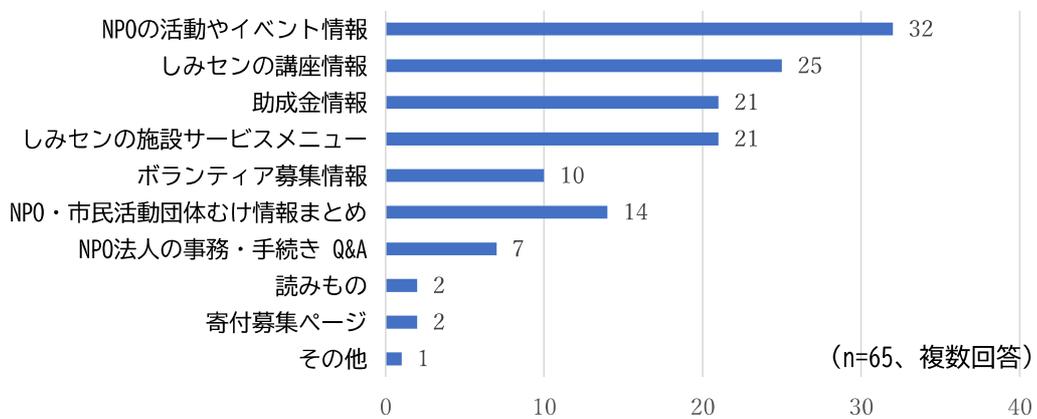
【相談機能評価へのコメント(自由記述)】

大変良い	<ul style="list-style-type: none"> 現在も親身になって、我々の団体の特徴をもとにアドバイスをいただけ感謝しております。また対応が早くとても助かります。ありがとうございます。 分かりやすくとても丁寧に教えて頂いた。 専門的かつ、優しい 親切丁寧に教えていただきました 私の疑問について問題点を的確に指摘してくださり、解決法を示してくださいました。 丁寧に答えてくださる。 いつも気持ちよく対応されています 会のサポートでちょっと離れた立場から話し合いに入っていただき、大変ありがたかった。 いつも親切丁寧にご対応いただき感謝しています。 専門知識が必要な相談に迅速に対応していただいた。 講演会をオンライン開催する際非常に親身に相談頂いたため 必要な情報を的確に伝えてくれること。親身になってくれる。頼れる。 適格な回答です シミセンでの相談については始めは色々有ったが相談しやすい。(色々はこちらが解らないことが事が多かった意味です) 最近では回の発信していた事に力を貸して頂いた(シミセンの方からですが) いつもていねいに教えて下さいます。 親身になって聞いていただきました。 丁寧にメール対応していただき大変助かりました 色々と細かく対応して下さると、不快を感じないので助かります。
よい	<ul style="list-style-type: none"> 数年前と比べて情報(ママ)に向かっていると思うため 親身になって下さる。 丁寧に説明していただける。 相談がある時 しみせん講座について
ふつう	<ul style="list-style-type: none"> まあ、そういう答えだろうなど。具体案ばかりだった。

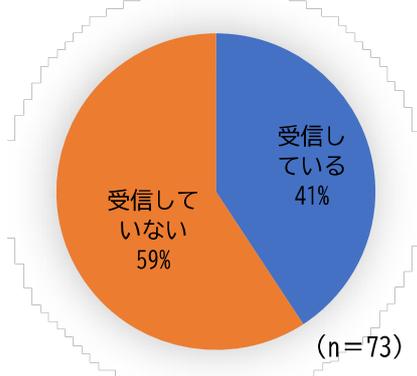
⑦講座の受講経験



⑨ウェブ等よく見る情報



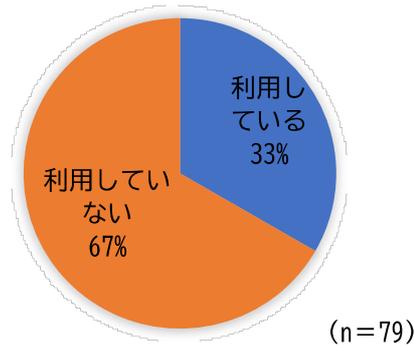
⑩メルマガ受信率



「受信している」のうちよく見る記事 (n=31)

しみセンからのお知らせ	15
NPO・市民活動団体のイベント情報	11
助成金情報	2
スタッフ・ボランティア募集情報	2
京都市からのお知らせ	1

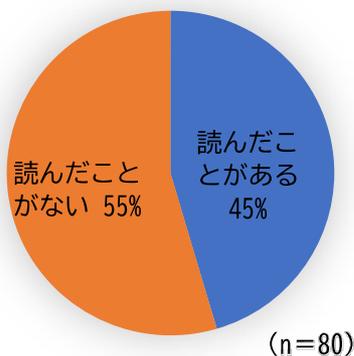
⑩ポータルサイトの利用度



【ポータルサイト使い勝手評価とその理由】

使いやすい (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほしい情報に辿り着きやすい ・ 会の情報発信を解りやすく発信して頂いているからです ・ 使いやすいと思っておりますが自身のパソコンスキルが低いのでこれから HP や活用していけたらと思っております。
普通 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信するものが現状ない。 ・ 独自のサイトがあるのでそちらの更新が重要と考えている ・ そこまで困る事も無い使い勝手です。 ・ 継続的に発信機能を利用することが大切だと分かっているけれど、全ての告知媒体へ入力するためのマンパワーが足りておらず毎回は発信できていない状況。 ・ しかし、職員の方に情報を拾っていただいて掲載いただいたり、掲載からラジオ出演につなげていただいたりと大変お世話になりました。 ・ 検索しやすい ・ 細かい事はわからない ・ 自分で変更できないので少しもどかしい部分はあるが、わかりやすく編集して下さることもあるので助かります。 ・ 高齢者が多く、得意でない
利用していない (50)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知らなかった。 ・ 別の担当者に任せていた。最近では利用していない。 ・ 市民活動総合センターのことを、つい最近知ったため認識不足でした ・ 面倒 ・ 活用のメリットを理解していない。

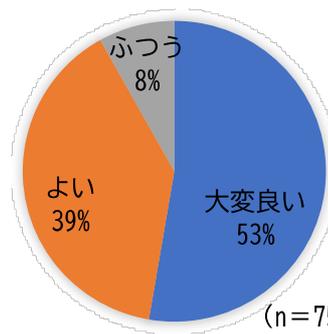
⑪hotpotの評価



【hotpot の評価】

大変よい (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回内容に工夫がされていて読みやすい ・ 知らない活動・情報を得られるので
よい (17)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さんがどのような活動をされているのか知れたことです ・ 興味ある有意義な内容だから。 ・ NPO 活動の参考になる。 ・ 読みやすい ・ 色々な特集が組まれていてよいと思います。 ・ 記事が豊富
どちらでもない (8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ レイアウト、デザインがすてき。 ・ いつも、変わった構造だな・・・と思いながら広がっています。 ・ 文字量が多いので、じっくり読めるときとパラパラと読むときとがある。でも自団体についてあの熱量で掲載していただいたらとても感動すると思う。

⑫職員の対応



【職員対応の評価（自由記述）】

大変良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動のためにこんなに親切なセンターがあるのはすばらしいです。もっと多くの人に知られてほしいと思います。 ・ いつもありがとうございます。 感謝です。 ・ 明瞭な受け答えで好感が持てる ・ 専門的な知識を要することから、ささいなことや「こんなことを聞いてもいいのかな」と思う相談まで真摯に対応していただいています。知らないことはやさしく教えて下さり、こちらが持っている情報は興味・関心を持って聞いてくださるので頼りにしていますし、身近に感じています。いつもありがとうございます。今後もどうぞよろしく願いいたします！ ・ いつもお世話になっていて、何か困った時はとりあえずしみセン！と思います。ありがとうございます m(__)m ・ 質問等の内容を的確に答えてもらえる。 ・ ていねいで優しく親切。 ・ ていねいに対応して頂けること。(窓口でも電話でも) ・ オンラインミーティングをしたとき、丁寧に教えて頂いた ・ いろいろ質問した時に、分かりやすく説明頂いた。 ・ いつも快く対応いただいている。
よい	<ul style="list-style-type: none"> ・ こちらは聴障団体で、筆談での対応をお願いしています。すぐにこやかに応じてくださる方もいますが、面倒な様子の方もいます。 ・ 礼儀正しい ・ わかり易い ・ すぐに対応して下さり、待たされてイラつくようなことはないです。わからないことも調べて下さり感謝してます。 ・ 対応して頂いている。 ・ 予約を取る方法を相談して欲しい。 ・ いつも私が来て、対応が悪いと思ったことはありません。 ・ その他メッセージ：団体活動をしていていつも困ったり、わからないことがあった場合にとっても助かっています。これからもよろしく願います。 ・ いつもお世話になっています。感謝です。
ふつう	<ul style="list-style-type: none"> ・ すぐに対応してくれる。 ・ 特にない。利用させて頂きありがたいです。

Ⅲその他のメッセージ

- ・ 学校の通知表は大抵良い場合が5、悪い場合が1となっているため、このアンケートフォームだと、つい「良い」と思った場合に5をつけてしまいます。
- ・ 少ない予算の中でもいろいろ考えてやりくりしてくださっている、といつも感じています。市民活動の大切な場所なので、大変かと思いますががんばってください！
- ・ 私たちの会も永く使わせて頂いていますが、いつも気持ちよく対応して頂いて、とても感謝して居ります。今後ともよろしくお願い致します。
- ・ 市民活動の場、公共の場があることがとても大切だと思います。運営を工夫されていて感謝しております。継続していただきたいです。
- ・ e-pot!が必ず「めいわくメール」に入るのですが、いくら設定を「～でない」にしても分類されてしまうのですが、なぜでしょうね。

以上

京都市民活動総合センター 令和元年度～令和4年度 統計実績

項目		令和元年(2019年度)	令和2年(2020年度)	令和3年(2021年度)	令和4年(2022年度)				
指定管理第4期									
開所日数		347日	303日	269日	346日				
センター 来館者数	年間 (1日平均)	86,915人 (250.5人)	60,400人 (199.3人)	56,826人 (211.2人)	76,247人 (220.4人)				
	累計	2,075,893人	2,136,293人	2,193,119人	2,269,366人				
① 情報収集・提供									
HPアクセス数		151,884件	129,838件	132,609件	114,219件				
SNS拡散数(facebookリーチ数)		54,754件	37,030件	38,019件	23,874件				
情報共有ポータルサイト(ページビュー数/ピジット数) ※R2年度(内コロナ専用サイト数)		230,152件	64,239件	249,953件 (17,752件)	93,848件 (7,869件)	282,459件 (11,130件)	122,770件 (7,308件)	300,110件 (5,527件)	136,674件 (3,402件)
インフォメーションサービス登録		1,267件	1,290件	1,324件	1,352件(実数623件)				
メールマガジン登録件数		2,482件(※11月に情報精査)	2,517件	2,566件	2,626件				
情報誌の発行(hotpot)		20,000部(2回)	20,000部(2回)	20,000部(2回)	20,000部(2回)				
チラシコーナー配架件数		2,766件	1,970件	2,161件	2,208件				
② 相談									
応対総数(電話/メール/窓口/オンライン) ※R3年度からオンライン件数含む		年間 (1日平均) 29,333件 (84.5件)	21,852件 (72.1件)	18,684件 (69.5件)	22,682件 (65.6件)				
相談総数(電話/メール/窓口/オンライン) ※R3年度からオンライン件数含む		年間 (1日平均) 1,159件 (1.33件)	1,219件 (1.43件)	1,046件 (1.47件)	868件 (1.10件)				
一般相談(電話/メール/窓口/オンライン) ※(内オンライン数)		年間 (1日平均) 460件 (1.33件)	432件 (1.43件)	396件(内16件) (1.47件)	379件(内11件) (1.10件)				
法人認証・認定相談 (電話/メール/窓口/オンライン) ※(内オンライン数)		全件	659件	754件	636件	462件			
		内:電話/メール等対応 (内オンライン)	272件	467件	404件 (9件)	219件 (5件)			
		内:来館相談対応	387件	287件	223件	238件			
時間		523.0時間	520.5時間	429.5時間	350.0時間				
専門相談総数 ※R3年度よりオンライン相談を含む		年間 30回 40件	33回 33件	20回(内中止1回) 14件 (内オンライン3回 4件)	27回 (内オンライン3回 3件)				
専門家相談会/会計		11回 16団体	固定7回+随時5回 14団体	固定7回+随時2回 5団体	固定7回+随時5回 13団体				
認定専門家相談会(会計)		6回 10団体	固定9回 8団体	固定9回(内中止1回) 7団体	固定9回 7団体				
認定専門家相談会:テーマ別		13回 14団体	固定3回+随時9回 11団体	随時2回 2団体	随時6回 6団体				
③ 育成									
講座等参加者数		55回(内中止6回) 814人	59回(内中止6回) 762人	75回(内延期4回) 747人	52回 838人				
入門講座		32回(内中止3回) 590人	30回(内中止1回) 558人	44回(内延期4回) 488人	28回 623人				
NPO初歩講座 ※(内オンライン/ハイブリット開催数・参加者数)		9回(内中止1回) 460人	6回 400人	7回 (内オンライン等3回)	7回 (内オンライン等116人)	7回 (内オンライン等1回)	438人 (内オンライン等55人)		
NPO法人設立講座 ※(内オンライン/動画配信開催数・参加者数)		23回(内中止2回) 130人	24回(内中止1回) 167人	37回(内延期4回) (内オンライン等6回)	166人 (内オンライン等22人)	21回 (内オンライン等4回)	185人 (内オンライン等33人)		
専門講座		23回(内中止3回) 224人	29回(内中止5回) 204人	31回 259人	24回 215人				
認定NPO講座 ※(内オンライン/動画配信開催数・参加者数)		23回(内中止3回) 224人	29回(内中止5回) 204人	31回 259人 (内オンライン等17回)	24回 215人 (内オンライン等113人)	24回 (内オンライン等11回)	215人 (内オンライン等96人)		
④ 交流・連携									
コーディネート事業									
コーディネート情報提供(照会)		519件	492件	369件	279件				
" 仲介確認中(紹介)		45件	37件	75件	77件				
" 成立		16件	13件	11件	22件				
ボランティア・コーディネート寄附件数									
ボランティア募集情報提供数		132件	43件	74件	88件				
団体情報拡散数(※情報共有ポータルサイト掲載件数含む)		40,652件	21,844件	47,595件	48,717件				
V・Co成立件数(※祇園祭ごみゼロ大作戦件数含む)		56件 1,980人	9件 137人	13件 229人	21件 1,469人				
市民活動イベント(市緑堂) (参加者・寄付額)		参加数: 210人	寄付総額: 169,600円	参加者(オンライン): 80人	寄付総額: 596,700円	参加数: 100人	寄付総額: 259,320円	参加人数:25人	寄付総額:139,232円
視察等外部との交流・連携		10回 97人	2回 45人	3回 72人	9回 144人				
スモールオフィス(12)@5,000/月⇒R1/10～@5,230/月									
大(24)@800/月⇒R2/4～@830/月		9団体	11団体	9団体	期首7団体 期末6団体				
中(24)@500/月⇒R2/4～@520/月		35団体	36団体	36団体	33団体				
小(18)@200/月⇒R2/4～@200/月		21団体	20団体	17団体	13団体				
メールボックス(96) 無料 ⇒R2/2～(95)		10団体	8団体	6団体	7団体				
印刷室利用件数		83団体	85団体	83団体	77団体				
		2,887件	1,737件	1,324件	2,167件				

令和4年度 京都市市民活動総合センター指定管理料に関する収支決算書

【収入の部】		予算合計額	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計	
指定管理料収入		58,179,977	12,988,965	14,609,375	17,338,902	13,242,735	58,179,977	
【支出の部】		予算額	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計	各費目残額
事業費内訳	諸謝金	1,514,100	140,910	100,004	213,638	638,692	1,093,244	420,856
	通信運搬費	786,000	237,867	93,799	343,057	798,299	1,473,022	-687,022
	印刷製本費	895,000	0	0	62,170	636,575	698,745	196,255
	消耗品費	860,000	220,968	287,191	117,267	132,453	757,879	102,121
	消耗什器備品費	300,000	9,000	0	0	125,980	134,980	165,020
	図書費	62,600	31,757	15,807	14,057	20,154	81,775	-19,175
	会議費	0	0	316	1,090	0	1,406	-1,406
	賃借料	536,000	70,286	53,193	56,835	74,732	255,046	280,954
	保険料	5,000	2,000	0	0	4,980	6,980	-1,980
	旅費・交通費	73,000	7,089	6,117	5,117	23,572	41,895	31,105
	研修費	200,000	41,654	0	2,727	6,818	51,199	148,801
	雑費	60,300	8,626	2,700	3,210	6,890	21,426	38,874
事業費計(*1)		5,292,000	770,157	559,127	819,168	2,469,145	4,617,597	674,403
管理費内訳	光熱水費	848,888	165,329	244,860	282,254	638,731	1,331,174	-482,286
	修繕費	50,000	0	0	24,540	0	24,540	25,460
	管理運営料	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	1,000,000	0
管理費計(*2)		1,898,888	415,329	494,860	556,794	888,731	2,355,714	-456,826
人件費(*3)		45,700,000	10,143,192	12,306,988	13,782,619	9,711,201	45,944,000	-244,000
消費税(*4)(10%)		5,289,089	1,132,868	1,336,098	1,515,858	1,306,908	5,291,731	-2,642
当期支出合計(*1~*4)(A)		58,179,977	12,461,546	14,697,073	16,674,439	14,375,985	58,209,042	-29,065
当期支払い額(B)			12,988,965	14,609,375	17,338,902	13,242,735	58,179,977	
差引合計(B-A)			527,419	-87,698	664,463	-1,133,250	-29,065	